

問1 室町時代後期から戦国時代にかけて、各地の実力者が幕府の法に頼らず、自らの領国内を統治するために独自に制定した法律を何といいますか。
(2024年 岡山県公立入試 類似)

1. 武家諸法度
2. 公事方御定書
3. 分国法
4. 御成敗式目

問2 室町時代の後半から戦国時代にかけて、各地で戦国大名が勢力を伸ばした背景として最も適切な説明はどれですか。
(2024年 秋田県公立入試 類似)

1. 特定の家柄のみが政治を独占する「門閥政治」が行われ、それに反発した新興勢力が台頭したため
2. 朝廷の権威を重んじる「尊王攘夷」の考えが広まり、幕府を打倒する勢力が現れたため
3. 幕府が各地の有力な農民に領地を分け与え、新しい支配層として育成したため
4. 幕府の権威が衰え、身分の低い者が実力で上の者をしのぐ「下剋上」という風潮が強まったため

問3 1549年にフランシスコ・ザビエルが日本に上陸し、キリスト教を伝えた背景には、当時のヨーロッパにおける宗教情勢が深く関わっています。キリスト教が日本に伝えられるに至った直接的な背景を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。
(2020年 長野県公立入試 類似)

1. ルターが自身の教えを世界に広めるために組織を設立し、その活動の一環として日本が最初の布教先選ばれた。
2. 十字軍の遠征が失敗に終わったことで、キリスト教徒がイスラム教勢力に対抗するための同盟国を東アジアに求めた。
3. 宗教改革によるカトリック教会の勢力衰退に対し、新たな信者を獲得するためにアジアなど海外への布教が重視された。
4. ルネサンスの進展によって人間中心の考え方が広まった結果、宗教の枠組みを超えた世界規模の文化交流が推奨された。

問4 室町時代の中期、浄土真宗（一向宗）を信仰する地侍や農民たちが強く団結し、加賀国（現在の石川県）の守護大名である富樫氏を倒す出来事が起こりました。この蜂起によって実現した、その後約100年にわたる地域の状況を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。
(2026年 高知県公立入試 類似)

1. 武家諸法度を無視したとして幕府から改易を命じられ、キリシタンを中心とした大規模な反乱が起きた。
2. 幕府に対して借金帳消しを求め徳政一揆へと発展し、全国的な徳政令の発令を勝ち取った。
3. 有力な国人たちが集まって合議制を敷き、守護大名の立ち入りを8年間にわたって禁じた。
4. 門徒たちが独自の政治体制を築き、「百姓の持ちたる国」と呼ばれるような自治を実現した。

問5 戦国大名が「分国法」を定めた目的や、その内容に共通する特徴として最も適切なものはどれですか。
(2023年 静岡県公立入試 類似)

1. 江戸幕府の許可を得て、大名同士の婚姻を制限し、軍勢力を抑え込むこと
2. 家臣同士の私的な争いを禁じ、大名の強力な権限で領国内の秩序を維持すること
3. キリスト教の布教を制限し、特定の寺社を保護して領国内の思想を統一すること
4. 鎌倉幕府が定めた武士の慣習を全国一律に適用し、朝廷の権威を守ることに

問6 戦国時代の堺において、自治的な運営を支えた商人の経済力や、当時の文化的な背景を説明した文として最も適切なものはどれですか。
(2023年 滋賀県公立入試 類似)

1. 朝廷からの特権を得た公家たちが、伝統的な和歌や蹴鞠の文化を町衆に広めた。
2. 勘合貿易の独占によって得た利益を背景に、幕府の役人が直接町を支配した。
3. 会合衆と呼ばれる商人たちが町を治め、鉄砲の製造技術を取り入れることで軍事的・経済的地位を高めた。
4. キリスト教の布教を認める代わりに、南蛮貿易を独占してヨーロッパの文化のみを追求した。

問7 1549年に現在の鹿児島県にあたる地域へ来航し、日本に初めてキリスト教を伝えた宣教師の名前と、彼が所属していたカトリック教会の組織の組み合わせとして正しいものはどれか。
(2020年 沖縄県公立入試 類似)

1. ペリー（アメリカ海軍）
2. マルコ・ポーロ（東インド会社）
3. フランシスコ・ザビエル（イエズス会）
4. 鑑真（唐招提寺）

問8 室町幕府の支配力が弱まる中で発生した、加賀国（現在の石川県）において浄土真宗の門徒らが守護大名を倒し、その後約100年にわたって農民らによる自治を行った出来事はどれですか。
(2018年 静岡県公立入試 類似)

1. 加賀の一向一揆
2. 山城の国一揆
3. 島原・天草一揆
4. 正長の士一揆

問9 15世紀後半の応仁の乱以降、室町幕府の権威が低下するなかで、各地の戦国大名が自らの領国内を独自に統治・管理するために制定した法律を何というか、正しい名称を選びなさい。
(2023年 福井県公立入試 類似)

1. 分国法
2. 御成敗式目
3. 公事方御定書
4. 武家諸法度

問10 室町時代後半に見られた、実力で上の身分の者を圧倒する社会的な風潮の中で、それまでの守護に代わって台頭した勢力があります。自らの力で領地を拡大し、独自の法律である「分国法」などを定めて領国を支配したこれらの勢力を何と呼びますか。
(2020年 千葉県公立入試 類似)

1. 守護大名
2. 戦国大名
3. 御家人
4. 地頭

問11 日本地図において、中国地方の日本海側に面した島根県に所在し、かつて「灰吹法」という技術を導入して生産量を飛躍的に高めた銀山を次の中から選びなさい。
(2016年 鳥取県公立入試 類似)

1. 富岡製糸場
2. 石見銀山
3. 足尾銅山
4. 生野銀山

問12 戦国大名が「分国法」を制定した主な背景や目的として、最も適切な説明を選びなさい。
(2023年 福井県公立入試 類似)

1. 明治政府が近代的な国家を建設するために、西洋の法制度を取り入れて国民の権利を定めようとしたから
2. 鎌倉幕府が御家人たちの領地争いを裁判によって公正に解決し、武士の支持を集めようとしたから
3. 応仁の乱を経て室町幕府の支配力が弱まったため、大名が実力で自国の武士や民衆を統制する必要があったから
4. 江戸幕府が大名たちの婚姻や城の修理を制限し、全国の諸大名を統制しようと考えたから

問13 室町時代に足利義満が開始した、大陸との外交や貿易の仕組みについて述べた文として、正しいものはどれですか。
(2023年 神奈川県公立入試 類似)

1. 博多湾を襲撃した元軍を退けた後、元の優れた文化を導入するために、北条氏を中心となって大陸との官民一体の貿易を推進した。
2. 明の皇帝から「日本国王」として認められた義満は、倭寇と正式な貿易船を区別するために「勘合」という札を用いる日明貿易を行った。
3. イエズス会の宣教師であるフランシスコ・ザビエルの布教を保護する条件として、ポルトガル船との間で南蛮貿易を開始した。
4. 幕府が発行した「朱印状」を携えた船が、東南アジアの諸港へ向かい、香料や絹織物などを取引する自由貿易を行った。

問14 16世紀の戦国時代、室町幕府の権威が衰退する中で、各地の実力者である戦国大名が自らの領国を独自に統治するために制定した法律を何というか、名称を答えなさい。
(2017年 茨城県公立入試 類似)

1. 御成敗式目
2. 公事方御定書
3. 分国法
4. 墾田永年私財法